

# ほっかい新報

2007年 週刊 月3回発行

2月4日 (第1692号)

発行所  
ほっかい新報社  
060-0806 札幌市北区北6条西7丁目  
電話 011(726)4858  
北洋銀行(普)0576770  
Eメール:hokkaijinpo@hotmail.co.jp

定価	230円	1部80円
月ぎめ	2,760円(千1,440円)	
年ぎめ	2,760円(千1,440円)	

## 国と道の責任を果たすべき



1月23日、日本共産党紙智子参院議員らと「夕張の再生めざす緊急要望」で嵐田副知事へ申し入れ

夕張市は二十六日、夕張市財政再建計画案を発表し、二十七日から市内六カ所で市民説明会を開きました。この案の問題点と、道の支援策について、日本共産党北海道政策委員長・佐藤陽子さん(道議予定候補)に緊急インタビューしました。

### 夕張の再生めざして 佐藤陽子さん(道議予定)にインタビュー



佐藤陽子さん(道議予定)にインタビュー

「これは、「市民のみなさん、住民側の運動と要望をふまえたもので」「それでも一歩前進」、不安をかかえながらも「がんばるしかない」と前向きにとらえる声もありますが、「全国最高の負担・最低のサービス」という基本性格は変わっていません。

夕張市立病院の存続が困難として枠組みでは、病院公設民営がかかげられていたのに、診療所に格下げ、機能を縮小させられた、一部修正されたとはいえ配食サービス等五十四の単独事業の廃止など、市民生活への影響は甚大なものです。

「ええ、枠組み案と比べ一部修正されたとはいえ、なお重大な問題をかかえています。このままでは、夕張に住み続けられるか、住民の不安と悩みは深く広いのです。住民説明会で出された声にも耳を傾けて、情報公開を徹底し、素案の抜本改定をはかることが求められています。

第一に、いのかの不安に立病院の閉鎖は一次救急機能の放棄です。栗山、岩見沢、苫小牧など長時間の搬送、広い救急体制が必要となります。人工透析患者、

はなはだ疑問です。第二に、あすの生活の姿が不明なことです。通院交通費の復路助成、市民法律相談、農業担い手後継者など、五十四の単独事業が廃止されるが、この緩和策は代わりの措置は全くありません。

金額は多くないがメロン農家への連作障害予防なども打ち切られます。これらの単独事業は全廃され、また縮小・再編はもつと広範囲にわたるとしても、その事業の本来の趣旨や必要性をふまえた対応策がどう

なりました。冬の夕張に欠かせないゆきとどいた除雪対策もみえません。高齢者除雪ヘルパーは非課税世帯百世帯近くが除外され、この回復策はどうなるのか。福祉除雪の募金やボランティアの運動があります。

広域自治体たる道政の「補完」代行機能も十分です。市道の一部(旧道々三路線)を除雪代行などは徹底すべきです。しかし、非常事態の補完機能としてはおお十分と考えます。

「再建期間のぼし 単独事業の継続を 共産党夕張市委員会が見解

事務所がある二十四条町内会の新年会に出たら、「小田さん、十八条のところで宣伝していましたね」と話がかかりました。今日は、二十四条のターミナルのところで歩いていると、メガネ屋さんが「宣伝は、明日ですね」と、声がかかりました。

月曜日から金曜日まで毎日あさ宣伝しています。一月のはじめはまだ薄暗いうちから家出て、朝宣伝して、日中から夜にかけては支部といっしょに訪問活動・小集会など全力で北区を駆け回っています。

夕張市委員会は二十八日、素案について「部分的に手直しが、全国最高の負担・最低のサービス」という基本線はそのまま、再建どころが市民生活破壊の本質はそのままという過酷な内容と指摘し、道支援で期間短縮でなく年度毎の減額にふりむけるべき、また、この金融機関からどなたも借りているのかを市民に公開せよ」と提案

夕張市委員会は二十八日、素案について「部分的に手直しが、全国最高の負担・最低のサービス」という基本線はそのまま、再建どころが市民生活破壊の本質はそのままという過酷な内容と指摘し、道支援で期間短縮でなく年度毎の減額にふりむけるべき、また、この金融機関からどなたも借りているのかを市民に公開せよ」と提案

**除雪ボランティア募集**  
夕張市委員会  
TEL 011-815-8181

夕張市委員会は二十八日、素案について「部分的に手直しが、全国最高の負担・最低のサービス」という基本線はそのまま、再建どころが市民生活破壊の本質はそのままという過酷な内容と指摘し、道支援で期間短縮でなく年度毎の減額にふりむけるべき、また、この金融機関からどなたも借りているのかを市民に公開せよ」と提案

計画案の特徴と問題は何か  
「第一、一月にも計画案を国に提出、今回の素案を出しました。その特徴は、①解消すべき赤字額三百五十三億円(骨子の七億削減)を八年間(同一年)で返済する、②基本方針として、徹底したスリム化、最小の事業

業、増税と受益者負担増とともに、新たに高齢者・子育てに配慮を加えた、③道として三百六十億円の長期貸付、一部市道の除雪、障害者医療給付など道の支援を前提にしている——ことにあります。

菅総務大臣が昨年暮れの来月に明らかにした住民生活への影響緩和策としての具体化が図られました。①高齢者「廃止予定の敬老バスは一回二百〜三百円へ負担増で継続、老人福祉会館の受益者負担で継続、公衆トイレ七カ所まで廃止から二カ所継続へ、②子育て保育料は国のみ引き上げ(月二万円増)から三年据置き、七年で段階的引き上げ、小中学校は各校へ統廃合から見直し(小三校?)、スミンクセンターは夏休み開設、③市民活動・南部コミュニティセンターや市民研修センターの存続、地域交通の確保など

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

枠組み(11/18)	素案(1/26)	備考
1. 解消すべき赤字額	360億円	353億円
2. 再建期間	20年	18年(H19~H36)
3. 市立病院	病院(公設民営)+老健	診療所(19床)+老健
4. 小(7)中(4)学校	小(1)中(1)	再検討(小3?)
5. 養護老人ホーム	廃止(H20年)	右同
6. 敬老バス(70歳以上)バス路線補助	廃止	道補助で継続
7. 福祉センター(7カ所)市民研修センター	H19年休止	存続(利用料5割UP) 存続(利用料5割UP)
8. 連絡所(5カ所)南支所 共同浴場(6カ所)公衆トイレ(7カ所)	H19年廃止 維持	H19年に2カ所廃止
9. 市道除雪、福祉除雪(245世帯)	10→15分 出動?	同
10. ゴミ	有料化(2円/1袋)	同(2人世帯で+5,560円)
11. 水道料	1,470円	同(2人世帯で+11,640円)
12. 保育料	国基準並みに引き上げ	3年据え置き、7年で国並み
13. 軽自動車	現行税率の1.5倍	同(7,200円→10,800円)
14. 緑プール、スミンクセンター	廃止(H19.1月から)	夏休みのみ開設
15. 美術館、図書館	廃止(H19から)	同(機能譲渡というが)

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

「素案の修正が強調されますが、なお多くの問題があるのですか。」  
「この間、心配の種とされた救急体制の不備です。二台の救急車と救急救命士(十一人七人)の不足は深刻です。消防職員(四十七〜三十六人)は会でも低充足率なのにさらに低下し、いのちを守るのか、

# 公開シンポジウム

# 道州制とアイヌ民族

一月十七日、北海道天  
 学大学院法学研究科高等法  
 制教育研究センターが主催  
 の「道州制とアイヌ民族」  
 グローバル化時代における  
 道州制と先住民民族」と  
 題する公開シンポジウムが  
 北大構内でおこなわれまし  
 た。

シンポは第一部で、山崎  
 幹根・北大公共政策大学院  
 助教授が「道州制の現状と  
 課題・スコットランドを参  
 考事例として」、深山直子  
 ・首都大学博士課程が「マ  
 オリ権利回復運動の現代的  
 諸相」、常本照樹・北大大  
 学院法学研究科教授が「民  
 族自治権とアイヌ民族の  
 『自治』」と題して講演を  
 おこないました。第二部と  
 して、三名の講演者にアイ  
 ヌ史研究家の多原香里氏、  
 アイヌアートプロジェクト  
 代表の結城幸司氏を加えて

パネルディスカッション  
 「道州制とアイヌの権利回  
 復」がおこなわれました。  
 小野有五・北大地球環境科  
 学研究科教授が総合司会・  
 コーディネーターを務めま  
 した。

自治権を有効的に行使す  
 るためには、自治の主体と  
 なる民族を代表する自治組  
 織が存在することが必要と  
 して、アメリカ大陸やオセ  
 アニア、台湾などの先住民  
 族には、伝統的な生活様式  
 と居住地を維持し、民族  
 構成員を統括する自治組織  
 を有するものが多く、民族  
 自治権を行使する基礎的条  
 件が満たされている。しか  
 しアイヌ民族のように、主  
 流社会に高度に同化されて  
 おり、政治的・社会的な民  
 族としての自立性を奪われ  
 た先住民の場合にはいかな  
 る「民族自治」が可能か。  
 現在のアイヌ民族は、ア  
 イヌを会員とする最大の組  
 織の北海道ワタリ協会があ  
 るが、民族における代表性  
 を有する自治組織がないこ  
 とを指摘したうえで、同協  
 会が一九八四年にまとめた

アイヌの「自治」と  
 政治参加の方法

アイヌがどのような民族  
 的自治を目指すかは、アイ  
 ヌ民族の自己決定にゆだね  
 られていると指摘した。常  
 本氏の講演のあらましを紹  
 介します。

常本氏は、最初に先住民  
 族の「自治」を広く捉えた  
 場合、その形態には三つの  
 レベルがあるとして、第一  
 が国家からの分離独立、第  
 二が国家内における自治、  
 第三が国会における民族特  
 別議席の保持をはじめとす  
 る国家統治への特別な参  
 加、これらの根底には国際  
 法にいう民族自治権概念が  
 存在すると考えられる。

「アイヌ新法」案を要求し  
 た、国会及び地方議会にお  
 ける特別議席の設置と、国  
 及び地方自治体における審  
 判の設置は、国家統治へ  
 の特別な参加を求めたもの  
 といえよう。

日本では民族特別議席を  
 設置することは、現行憲法  
 上は困難だと考えられる。  
 現行憲法のもとで、民族特  
 別議席や自治州に変わる何  
 らかの特別な政治参加の可  
 能性を検討する二つの方  
 式が考えられる。

第一として、一九七〇年  
 七月に成立した「沖縄住民  
 の政治参加特別措置法」に  
 おける国会への沖縄代表  
 (議決権はもたないが、法  
 案審議における発言や、政  
 府への質問などは通常の議  
 員と同様に認められる)の  
 ような「表決権のない議  
 員」方式。第二として、ア  
 イヌ自ら「自治」能力を

アイヌ新法にも含まれてい  
 たような、アイヌ民族の代  
 表によって構成される常設  
 の諮問機関の設置が考えら  
 れる。

アイヌ民族の民族自治の  
 可能性を考えるときには、  
 制度的可能性以上に、アイ  
 ヌ民族自身の政治的民衆意  
 識の問題が重要。アイヌ民  
 族の自己決定にゆだねられ  
 ている。と、アイヌ自身の  
 とりくみにかかっているこ  
 とを強調しました。

高めていきたいという発言  
 が出されました。

アイヌの政治参加の問題  
 については、一九八八年十  
 二月に、日本共産党道委員  
 会と同中央委員会政策委員  
 会が、「アイヌの生活と権  
 利の保障のために―現在の  
 アイヌ問題をめぐって―三  
 つの緊急提案」の中で、北  
 海道とアイヌが集中的に居  
 住する地区をもつ市町村に  
 たいし、合議制の行政機関  
 (「アイヌ問題委員会」一  
 仮称)の設置を義務づける  
 ことを提起しています。

## 市民の願いにこたえているか

## 民主党は市民に

## 負担増をおしつけ増税推進

札幌市議会における民主  
 党は定数六十八議席中十八  
 議席です。この四年前、民  
 主党の市議会で果たしてい  
 る役割を見てみました。

やか健康・ガン健康の本人  
 負担額の引き上げを拒  
 否に実施されました。

〇六年十月二十六日第三  
 回定例市議会で共産党は  
 「庶民大増税の凍結と見直  
 しを求める  
 意見書」を  
 提案しまし  
 たが民主党  
 は反対、自  
 公と同じ増  
 税推進で  
 共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が

一位二位をしめました。  
 この声にこたえて、増税・  
 負担増に反対し、市の軽減  
 策を求めたのは共産党で  
 す。

〇六年五月から二  
 〇〇六年十二月までに市民や  
 団体から出された請願は二  
 百七十一件。このうち民主  
 党が紹介議員になったのは  
 「新川西地区への小学校建  
 設」と「道路の整備を早急  
 に求める」請願の二つだけ  
 です。前者は北区選出の全  
 議員、後者は日本共産党の  
 坂本きよ子議員も含めた  
 北区選出の超党派の五人の  
 議員が紹介議員になってい  
 ます。

日本共産党が、二百七十  
 一件の請願に対し二百七十  
 件の請願の紹介議員とな  
 り、市民と市政をつなぐ架  
 け橋となっているのです。

「無駄をただしているか  
 海外視察費は  
 民主党が  
 一番多額

国政では「事務所費」問  
 題などで、政治とカネが重  
 大問題になっています。市  
 議会でも政務調査費の使い  
 方、海外視察のあり方に  
 ついて、市民から批判がた  
 んでいます。

民主党は、「観光旅行で  
 はないか」と批判のある海  
 外視察を十八人中十一人が  
 おこない、一人あたりの金  
 額は約六十二万五千円と  
 番多く使っています。

日本共産党は、海外視察  
 は一九九〇年度から行っ  
 ていません。

政務調査費は〇四年の議  
 会改革検討委員会で、民主  
 党は公開に反対。〇五年の  
 各会派の団長・会長による  
 「議会改革懇談会」で、市  
 民世論と共産党の奮闘で五  
 万円以上の公開が実現しま  
 した。

## 漫画「蟹工船」について

小樽多喜二祭実行委員会  
 琴坂守尚

住する地区をもつ市町村に  
 たいし、合議制の行政機関  
 (「アイヌ問題委員会」一  
 仮称)の設置を義務づける  
 ことを提起しています。

帝国主義戦争の本質、およ  
 びこれらの相互関係といっ  
 たことがらです。

「蟹工船」は今から七十  
 年以上も昔の話、そのころ  
 と今とでは、国際環境も産  
 業の実態も、大きく変わっ  
 ているように見えますが、  
 当時そのような状況を作り  
 出していた資本主義は、根  
 本的にはその仕組みを変え  
 ずに、今日さらに大規模化  
 して世界を覆っています。

現代の労働者も、「蟹工  
 船」の時代とは違った形で  
 「生命がけ」の状況にあ  
 り、うつ病や自殺に追い込  
 まれる人も少なくありません。  
 そういう現実を目を開  
 き、まともに状況に向き合  
 おうと語りかけていること  
 りが、「蟹工船」が今なお  
 高く評価される所以ではな  
 いでしょうか。

企画・白樺文学館多喜二  
 ライブラリー 六〇円 ポ  
 多喜二祭  
 20日(火)18時30分記念講演  
 と音楽の夕べ、講演「多喜  
 二は現代に何を語るか」澤

田章子・文芸評論家  
 小樽市民センターマリノホ  
 ール 主催・実行委員会  
 〇134-328560



本書を推薦します。  
 井上ひさし

24日(土)14時17時/ホテル  
 ニューオータニ(札幌北2  
 西1)  
 基調講演「社会の共有財産  
 としての医療 鈴木厚・川  
 崎市立井田病院・内科医  
 シンポジウム「医師がいな  
 い、ベッドがなくなる」と  
 うする北海道の医療」  
 シンポジスト/峰廻攻守・  
 西田山病院院長/宮田美津江  
 講演「戦後の瀬戸際に  
 立つて―靖国問題を中心に  
 田中伸尚・ノンフィクショ  
 ンライター  
 特別報告：伊藤誠一・日弁  
 授/参加費・五百円/主催  
 連合会長  
 ◎参加費・無料/主催・靖  
 1758-2648

3月17日(土)13時30分/札幌  
 教育文化会館  
 「中高生のための憲法講座」  
 主催・札幌弁護士会  
 〇1281-2428

2月9日(土)18時/札幌エ  
 プラザホール  
 「先住民の権利に関する  
 国連宣言」と「国際人権規  
 約の日本政府第5回報告」  
 について  
 24日(土)14時17時/ホテル  
 ニューオータニ(札幌北2  
 西1)  
 基調講演「社会の共有財産  
 としての医療 鈴木厚・川  
 崎市立井田病院・内科医  
 シンポジウム「医師がいな  
 い、ベッドがなくなる」と  
 うする北海道の医療」  
 シンポジスト/峰廻攻守・  
 西田山病院院長/宮田美津江  
 講演「戦後の瀬戸際に  
 立つて―靖国問題を中心に  
 田中伸尚・ノンフィクショ  
 ンライター  
 特別報告：伊藤誠一・日弁  
 授/参加費・五百円/主催  
 連合会長  
 ◎参加費・無料/主催・靖  
 1758-2648

**宮内総務所びらき**  
 2月10日(土)18時30分/すすみれホテル3階  
 ヴィオレ(中央区北1条西2丁目)  
 会費 二〇〇〇円  
 宮内総務所 〇11-232-8602

**お知らせ**  
 国神国営化阻止道民連絡  
 会議 〇11-561-3  
 496

**憲法60年連続  
 市民講座第4回**  
 2月5日(月)8時10分石狩市  
 図書館駐車場(市役所向か  
 い側)集合  
 ◎集会 8時45分  
 主催・石狩市平和を守る連  
 絡協議会/小樽地区労連/  
 道安保健実行委 〇11  
 1747-7549

**第5回講座**  
 3月17日(土)13時30分/札幌  
 教育文化会館  
 「中高生のための憲法講座」  
 主催・札幌弁護士会  
 〇1281-2428

ほんとうですか?  
**民主党**

上田市政は「財政構造改  
 革プラン」で百三十三億  
 もの負担増を計画しまし  
 た。敬老バスの改悪、市営  
 住宅家賃・駐車場料金値上  
 げと減免制度の改悪、すこ  
 二〇〇六年の六月、自公  
 政権の行った税制改悪にと  
 もなる住民税の増税に市民  
 の怒りが爆発しました。同  
 時期に通知された介護保  
 料料が上がり、さらに国保料  
 まで引き上げになった世帯

市民負担増に対する各党の態度

条例・予算	共産	自民	公明	民主	ネット
市税条例の改定 (06年4月4日) (市民税の負担増)	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
国保条例の改定 (05年12月13日) (賦課方式への変更)	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
介護保険会計予算 (06年3月24日) (介護保険料値上げ)	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
平成16年度一般会計補 正予算(05年10月28日) (敬老カード導入経費)	反対	賛成	賛成	賛成	賛成

共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が

共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が

共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が

共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が

共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が

共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が

共産党の  
 市政アンケ  
 ートに国  
 保、介護の  
 負担軽減を  
 求める声が